

## 音量を調整する

### ボリューム

内蔵スピーカーからの出力を調整します。調整した音量はモードごとにメモリーされ、モードを切り替えると音量も変わります。インテリジェントボリューム機能

[ 初期設定：20，調整範囲：0 ~ 30 ]

VOLUME ボタン または VOLUME ボタン を押す。

VOLUME : 音量が上がる。(押し続けると、)  
VOLUME : 音量が下がる。(連続して変化します。)



### お知らせ

- 音量インジケータが表示されている間(約5秒間)に音量調整しないと、自動的に解除されます。
- FMトランスミッタ および PRE OUT (外部機器から出力される音声)の音量は調整できません。接続した機器で調整してください。

## 一時的に音を消す

### ミュート

一時的に、消音することができます(内蔵スピーカーの音が出なくなります) [ 初期設定：OFF ]

MUTE ボタン を押す。

- ボタンを押すごとに、ミュートが“ON/OFF”します。
- ミュートが“ON”のときは MUTE インジケータ の表示が点滅し、一時的に音が消えます。

### お知らせ

- 携帯電話をご使用になると、本機の音声にノイズが入ることがあります。ノイズが気になるときは、ミュートを“ON”にしてください。
- FMトランスミッタ および PRE OUT (外部機器から出力される音声)の音は消えません。

## モードを切り替える

MODE ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、モードが次のように切り替わります。



### お知らせ

- VTRモードは、後面部のVTR入力コードに接続した機器の映像や音声を出力します。
- AVモードは、前面部のAV入力端子や後面部のAV入力コードに接続した機器の映像や音声を出力します。
- ナビゲーションモードが“ON”のときは、映像が切り替わらずに音声だけが切り替わります。



MODE ボタン

# アスペクト比（画面モード）を切り替える

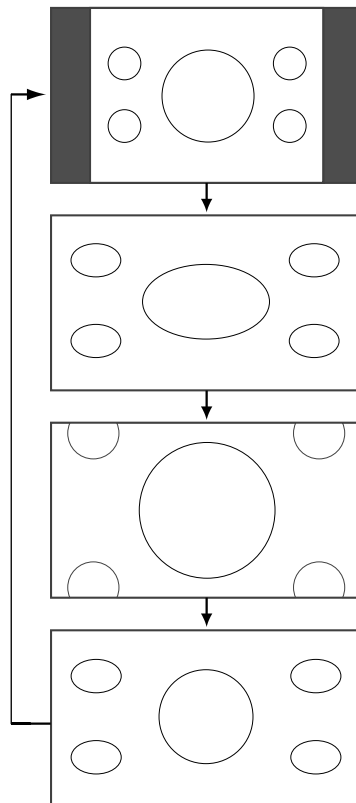
## アスペクト

A (ASPECT) ボタン を押す。

- ボタンを押すごとに、アスペクト比が次のように切り替わります。



A (ASPECT) ボタン



### ノーマル画面（中央）

- 通常の4：3（横：縦）の画面。
- 画面の左右が黒くなる。

### フル画面

- 全体を横方向に伸ばした16：9の画面。
- 画面のどの位置でも、伸ばす比率が同じ。

### ズーム画面

- ノーマル画面の比率（4：3）のまま、いっぱい伸ばした画面。
- 画面の上下が少しカットされる。

### ジャスト画面

- 横方向に伸ばした16：9の画面。
- 画面の左右端に向かって、伸ばす比率が大きくなる。

## お知らせ

- カーナビゲーションの映像は、ズーム画面、ジャスト画面に切り替わりません。
- 車のギアを“R”（リバース）に入れて、後方確認カメラの映像を表示しているときは、フル画面で固定となります。

## お願い

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のアスペクト比（画面モード）切り替え機能を利用し、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

## カーナビゲーションの映像を 表示させる

別売のカーナビゲーション(CN-DV2520ID等)の接続  
が必要です。

NAVI ( NAVIGATION ) ボタン を押す。

- ボタンを押すごとに、ナビゲーションモードが “ ON/OFF ” します。

NAVI ( NAVIGATION ) ボタン



### お願い

カーナビゲーションを本機に接続したときは、“ナビゲーション  
入力”(P.21 参照)で、接続端子を正しく設定してください。  
設定が正しくないと、上記の操作ができないことがあります。

### お知らせ

ナビゲーションモードが“ ON ”のときにモードを切り替えると、  
映像が切り替わらずに音声だけが切り替わります。

# テレビを見る

## お願い

走行中は安全のため、映像が映りません。TVモードに切り替えると警告（WARNING）表示が出ます。車を安全な場所に停止させ、サイドブレーキをかけてご使用ください。

## TVモードの表示

### 音声インジケータ

- 現在受信中のテレビ放送の音声を表示します。

モノラル放送のとき : 表示なし

ステレオ放送のとき : “ステレオ” “モノラル”

音声多重放送のとき : “主音声” “副音声” “主/副音声”



### チャンネル

- 現在受信中のテレビ放送の音声によって、自動的にチャンネル番号の色が変わります。

モノラル放送 : 緑

ステレオ放送 : 黄

音声多重放送 : 赤

パナメモリー一覧表

# テレビを見る (つづき)

## TVモードにする

MODE ボタン を押して、“ TV ” に切り替える。

- テレビを受信します。

TV                      VTR                      AV

### お知らせ

ナビゲーションモードが“ ON ” のときは、映像が切り替わらずに音声だけが切り替わります。

## チャンネルを選ぶ

### 手動選局 (順送り)

CHANNEL < ボタン または CHANNEL > ボタン を押す。

CHANNEL < : チャンネルが、順送りで下がる。

CHANNEL > : チャンネルが、順送りで上がる。

### 自動選局 (シーク)

CHANNEL < ボタン または CHANNEL > ボタン を 0.5秒以上押す。

CHANNEL < : チャンネルが早送りで下がり、放送局があるところで止まります。

CHANNEL > : チャンネルが早送りで上がり、放送局があるところで止まります。

### ダイレクト選局

数字の入力でチャンネルの選局ができます。リモコンの10キー ボタン を使います。

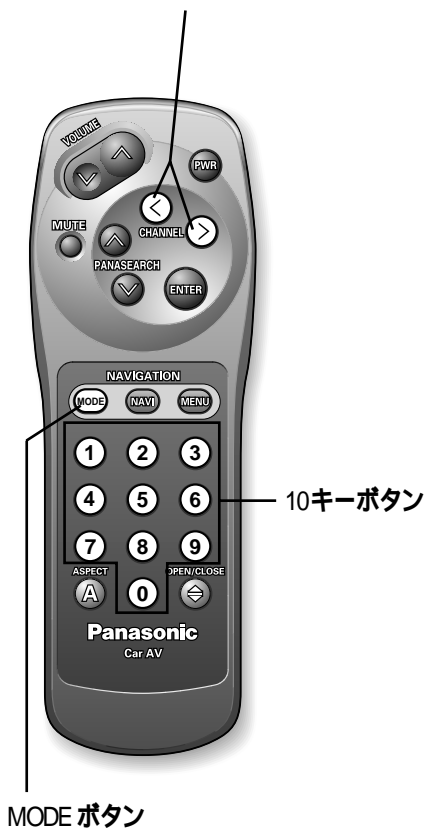
### 入力のしかた

例) ● 1ch (1桁のチャンネル) を見たいときは、  
0 1 と、連続して押す。または、1のみを押す。

● 52chを見たいときは、5 2 と、連続して押す。



CHANNEL <> ボタン



MODE ボタン

使  
い  
か  
た

テ  
レ  
ビ

# チャンネルを自動的にメモリーさせる

## パナサーチ

パナサーチとは、その場で受信可能な放送局を自動的にサーチし、チャンネル番号順にメモリーさせる機能です。最大18チャンネルまでメモリーされます。

PANASEARCH ボタン または PANASEARCH ボタンを2秒以上押す。

PANASEARCH : 1chから周波数が高い方へサーチする。

PANASEARCH : 62chから周波数が低い方へサーチする。

- メモリーが終わると、メモリーしたチャンネル番号を一覧で表示します。パナメモリー一覧表

## お知らせ

パナサーチをすると、前にメモリーされていたチャンネルが消去され、新しいチャンネルを上書きします。

# メモリーしたチャンネルを一覧表から選ぶ

## パナメモリー一覧表

PANASEARCH ボタン または PANASEARCH ボタンを押す。

- ボタンを押すごとにパナメモリー一覧表の中でカーソルが移動し、選択されているチャンネルに切り替わります。

PANASEARCH ボタン



カーソル



使  
い  
か  
た

テ  
レ  
ビ

## テレビ放送の音声を切り替える

ステレオ放送や音声多重放送は、音声を切り替えることができます。

- ① ENTER ボタン を押す。
  - TVモードの表示が表示されます。
- ② TVモードの表示が表示されている間(約4秒)に、もう一度 ENTER ボタン を押す。
  - ボタンを押すごとに次のように切り替わり、音声インジケータが表示されます。



### ステレオ放送の場合

ステレオ                      モノラル

### 音声多重放送の場合

主音声                      副音声                      主 / 副音声

主音声：通常の音声を聴く。

副音声：副音声を聴く。

主 / 副音声：通常の音声と副音声を聴く。

### お知らせ

- TVモードの表示は、約4秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- 現在受信中のテレビ放送がステレオ放送や音声多重放送でないときは、切り替わりません。



# 接続した外部機器の映像・音声を出力する

VTRモードやAVモードは、接続した外部機器の映像や音声を出力します。端子に別売のビデオカメラ・後方確認カメラ・カーナビゲーション等を接続してください。

## お願い

- 走行中は安全のため、映像が映りません。VTR / AVモードに切り替えると警告（WARNING）表示が出ます。車を安全な場所に停止させ、サイドブレーキをかけてご使用ください。
- カーナビゲーションが未接続の場合は、必ず“ユーザー設定”の“ナビゲーション入力”を“RGB”に設定してください。（P.21 参照）
- 後方確認カメラが未接続の場合は、必ず“ユーザー設定”の“カメラ入力”を“OFF”に設定してください。（P.22 参照）

## VTR / AVモードの表示

### 例) VTRモードの表示

AVモードのときは、“AVモード”と表示されます。



MODE ボタン

## VTRモード / AVモードにする

MODE ボタンを押して“VTR”または“AV”に、切り替える。

- 接続されている機器の映像が表示されます。

TV                      VTR                      AV

## お知らせ

- ナビゲーションモードが“ON”のときは、映像が切り替わらずに音声だけが切り替わります。
- AV入力（映像）への接続は、前面部と後面部のどちらか一方にしてください。両方の端子に同時に接続すると、正常な映像を出力することができません。

## 別売のカーナビゲーション（CN-DV2520ID等）でDVDビデオを見たいときは

- カーナビゲーション本体のVIDEO出力端子とAUDIO出力端子を本機のVTR入力コード（映像・音声）に接続してください。（P.41 参照）
- カーナビゲーション本体のビデオコントロールコードを本機のビデオコントロールコードに接続してください。（P.41 参照）

ナビゲーションモードを“ON”にして（P.30 参照）、DVDビデオを再生する。

# 便利な機能

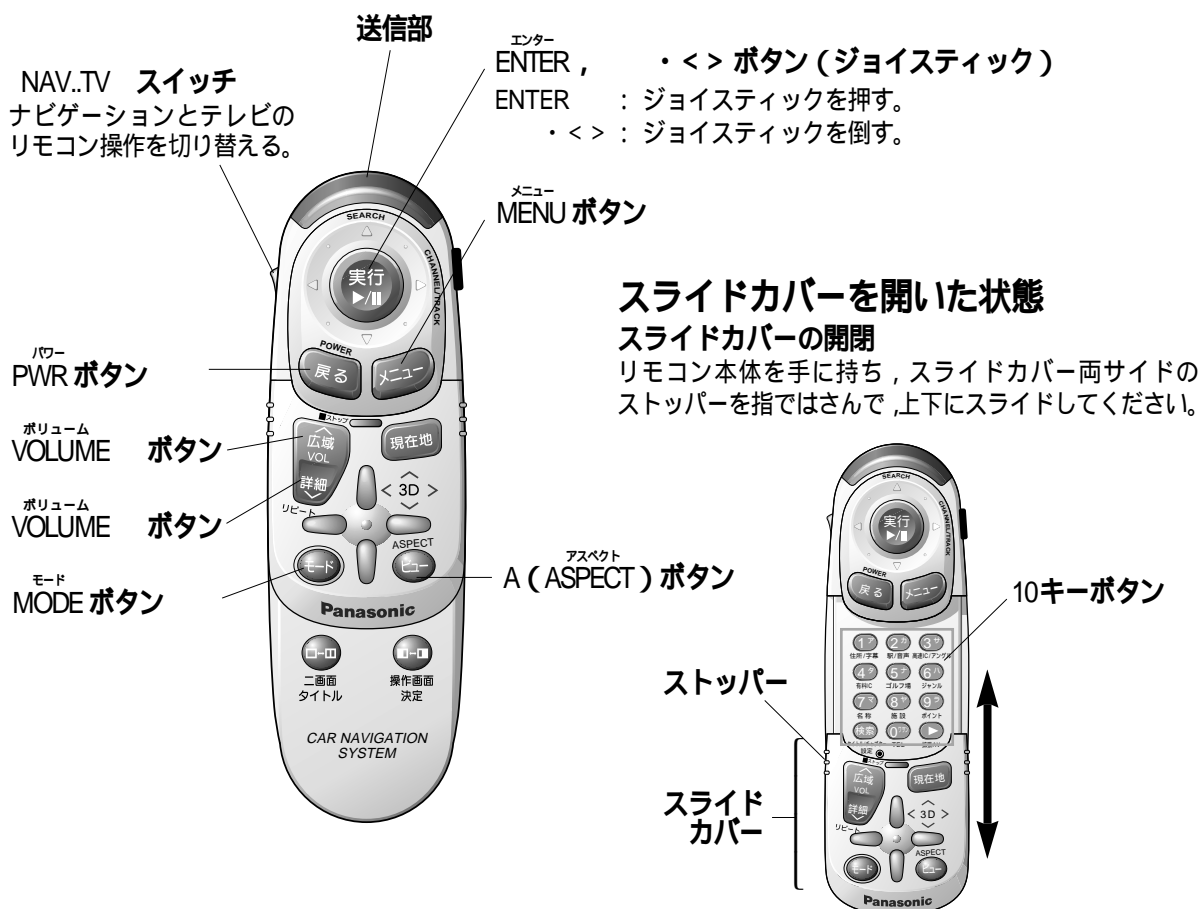
## カーナビゲーション付属リモコンで本機を操作する

別売のカーナビゲーション (CN-DV2520ID等) 付属リモコンの 左上にある NAV..TV スイッチをTV側にすると、本機の操作ができます。(NAV側になっているときは、本機を操作できません。)

リモート  
ディスプレイ部の REMOTE (リモコン受光部) に向けて、操作してください。  
(P.8 参照)

### 例) CN-DV2520ID 付属リモコン

本機のボタン名称に置き換えて説明します。(詳細は、P.7 をご参照ください。)



### お知らせ

- カーナビゲーション付属リモコンには、OPEN/CLOSE ボタン、NAVI (NAVIGATION) ボタンがありません。本機で操作してください。また、TILT ボタンは本機の前面部 (本体) にしかありません。
- 現在地 3Dキー 二画面 操作画面 検索 ▶ 発声 / 取消 ボタンは、本機の操作に使用しません。カーナビゲーションの操作をするときに使用します。
- スライドカバーを開いているときは、スライドカバーの上にあるボタンが使用できません。  
スライドカバーの上にあるボタン： 広域 / 詳細 現在地 モード ビュー 3Dキー

# お手入れのしかた

## 本機の清掃について

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



### お願い

本機内に水が入ると故障の原因になりますので、洗車や雨のときに水がかからないようにご注意ください。

# 故障についてのお願い

万一異常（ヒューズの溶断など）が起りましたら、必ずお買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの取り替えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので、特にご注意ください。

## ⚠ 注意

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがする等の異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

### 分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり改造すると、発煙・発火の原因になります。

# 故障と思われる前に

## 電源

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。	10
	ディスプレイ部を立ち上げていない。	ディスプレイ部を立ち上げてください。	10
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	40～43
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電しているバッテリー電源コードに接続してください。	40～43
	アクセサリ電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリ電源コードを、車のアクセサリ電源コードに接続してください。	40～43
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを、車の金属部に接続してください。	40～43
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にヒューズの交換をご依頼ください。	37

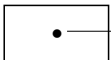
必要なときに

# 故障と思われる前に (つづき)

## 共通

症 状	原 因	処 置	参照ページ
音が出ない。	音量が下がっている。	音量を上げてください。	27
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	40 ~ 43
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	
内蔵スピーカーの音が出ない。	音量が下がっている。	音量を上げてください。	27
	スピーカー設定が“ OFF ”になっている。	メニューの“ ユーザー設定 ”で“ スピーカー設定 ”をOFF以外に設定してください。	20
FMトランスミッタの音が出ない。 音が小さい。雑音が出る。	FMトランスミッタ設定が“ OFF ”になっている。	メニューの“ ユーザー設定 ”で“ FMトランスミッタ ”をONに設定してください。	19
	FMラジオの受信周波数と、本機の周波数設定が一致していない。	メニューの“ ユーザー設定 ”の“ FMトランスミッタ ”で設定した周波数に、FMラジオの周波数を合わせてください。	19
	電源コードの FM トランスミッタアンテナコードが伸びていない。	音がよく聞こえるように、アンテナコードを引き回し直してください。	40
ディスプレイ部の上下角度や前後位置が調整できない。	障害物等にあたっている。	コードのはさみ込みに注意し、障害物等にあたらない位置でご使用ください。	11
ディスプレイ部が収納できない。	ディスプレイ部の左右の角度が中央に戻っていない。	ディスプレイ部の左右の角度を中央に戻してください。	12

## ディスプレイ

症 状	原 因	処 置	参照ページ
映像が出ない。	画面のコントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいの調整が適切でない。	メニューの“ 画面調整 ”で、各項目 (“ コントラスト ” “ 明るさ ” “ 色の濃さ ” “ 色あい ”) の調整をしてください。	15 ~ 18
画面が暗い。			
画面が白っぽい。			
色あいが悪い。 色が薄い。			
 赤・青または緑の点	ディスプレイ特有の現象。	故障ではありません。	
画面の明るさが一定でない。	ディマーが“ 自動 ”に設定されている。(周囲の明るさによって画面の明るさが自動的に変化します。)	故障ではありません。 設定を“ 1 ~ 4 ”にすると、周囲の明るさに影響されなくなります。	14

## TV (テレビ)

症状	原因	処置	参照ページ
映像が出ない。	TVモードになっていない。	MODEを押して、TVモードに切り替えてください。	32
雑音のみで、映像が出ない。 映りが悪い。	TVアンテナがはずれている。	TVアンテナの取り付けや接続が正しくされているか、確かめてください。	40 ~ 49
	チャンネルが合っていない。 または、電波が弱い。	チャンネルを切り替えてください。	32 ~ 33
	まわりに障害物があるなどで、受信状態が良くない。	受信状態の良い場所へ移動してください。	

## VTR, AV (ビデオ, 後方確認カメラ)

症状	原因	処置	参照ページ
ビデオの映像が出ない。	ビデオが正しく接続されていない。	ビデオや後方確認カメラを正しく接続してください。	42
後方確認カメラの映像が出ない。	後方確認カメラが正しく接続されていない。	ビデオや後方確認カメラを正しく接続してください。	42
	カメラ入力が正しく設定されていない。	メニューの“ユーザー設定”で“カメラ入力”を正しく設定してください。	22
色が正しく出ない。	ディスプレイの明るさや色の調整が適切でない。	ディスプレイの明るさや色の調整をしてください。	15 ~ 18

## リモコン

症状	原因	処置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(+)(-)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	6
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6
	リモコンの方向が正しくない。	ディスプレイ部のREMOTE(リモート)に向けて操作してください。	8

## 万一、異常動作をした場合



### リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒などを入れてスイッチを押すと、異常回復後、初期の状態に戻ります。このときメモリーした内容は解除されますので、ご注意ください。

### お願い

どの操作ボタンを押しても動作しない場合に押してください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理依頼をしてください。

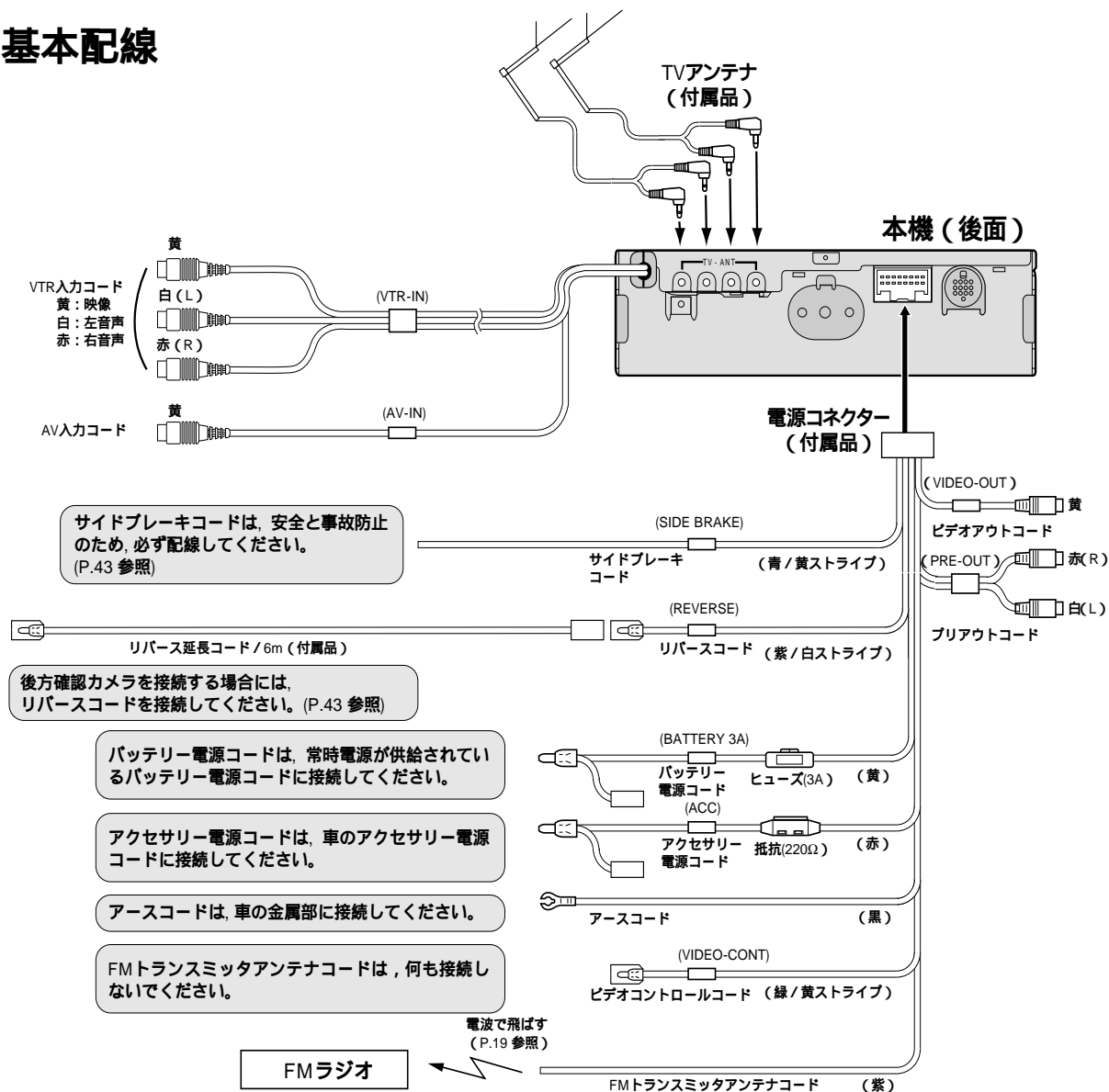
# 配線のしかた

## 配線の前に

- 本機はDC12 V $\ominus$ アース車専用です。
- 配線作業中のショート事故防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 配線については、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

## 基本配線



### お知らせ

FMトランスミッターをご使用の場合にノイズが入ったり、感度が悪いときは、FMトランスミッターアンテナコードを引き直し直してください。

必要なときに

## ⚠ 注意

### 取り付け，配線は専門技術者に 依頼する



本機の実取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

### 決められたヒューズを使用する



ヒューズ交換は必ず表示された規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火の原因になります。

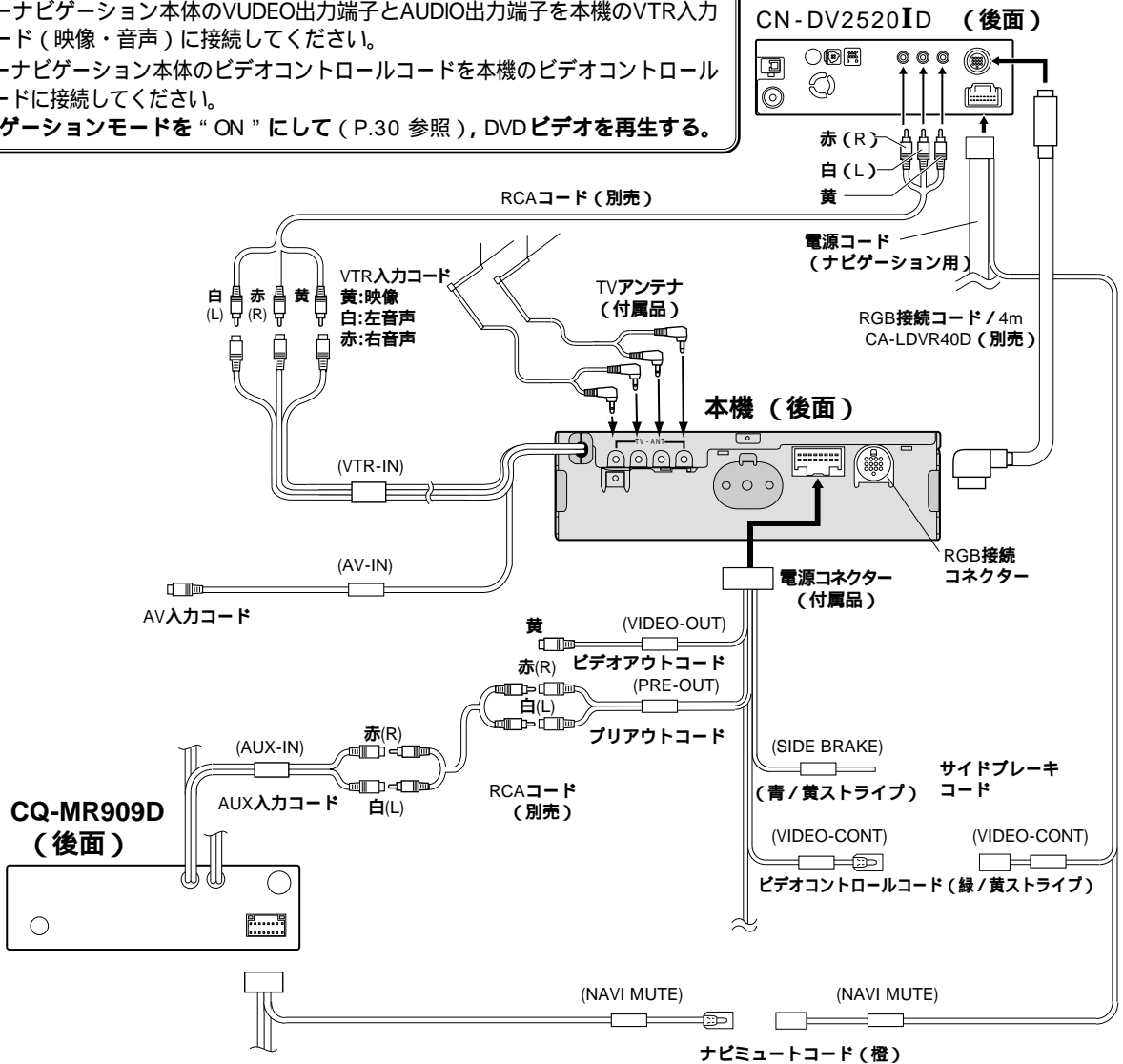
## システムアップ例 1

### カーナビゲーション (CN-DV2520ID)，MDレシーバー (CQ-MR909D) との組み合わせ

別売のカーナビゲーション (CN-DV2520ID等) でDVDビデオを見たいときは

- カーナビゲーション本体のVVIDEO出力端子とAUDIO出力端子を本機のVTR入力コード (映像・音声) に接続してください。
- カーナビゲーション本体のビデオコントロールコードを本機のビデオコントロールコードに接続してください。

ナビゲーションモードを“ON”にして (P.30 参照)，DVDビデオを再生する。



必要に応じて

### お知らせ

RGB接続コードはL型側を本機に接続してください。両側ともL型のRGB接続コードをご使用になる場合は、別売のRGBコネクタ変換コード (CA-LLDV02D) を接続してください。

# 配線のしかた (つづき)

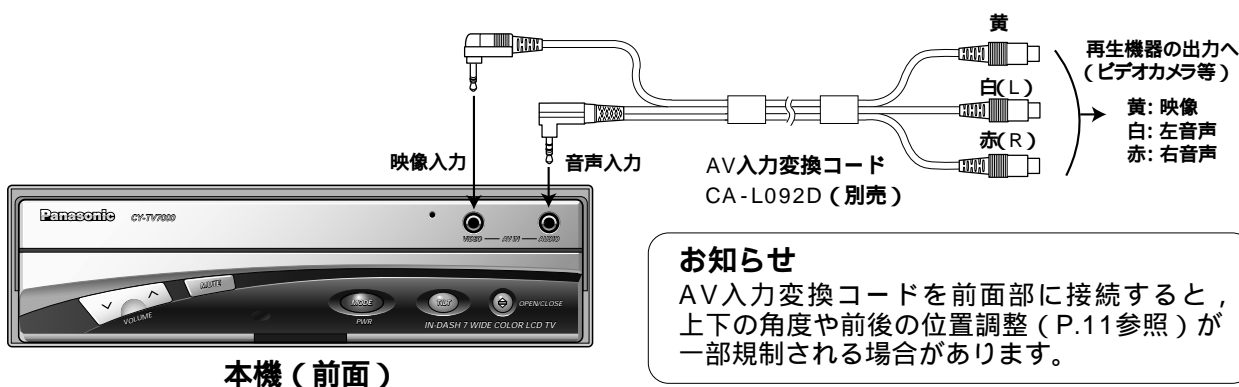
## システムアップ例 2

ビデオ、ビデオカメラ、後方確認カメラを接続する

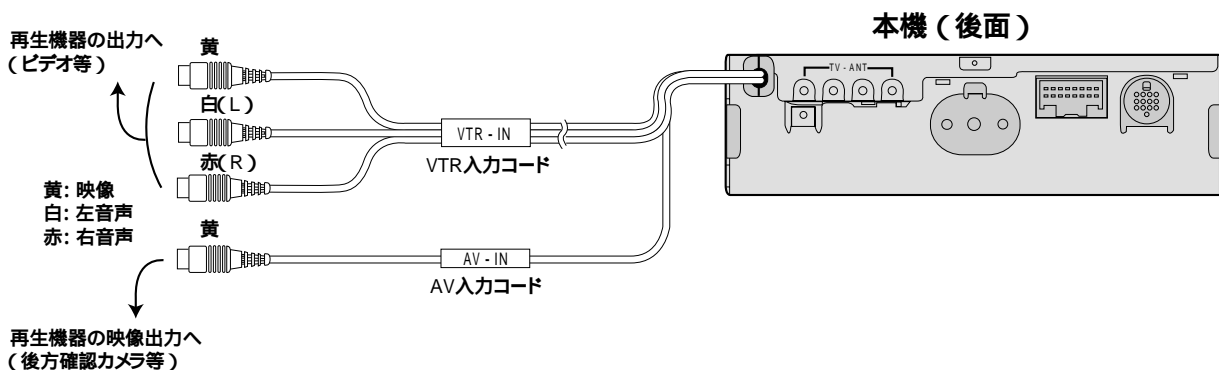
### お知らせ

AV入力（映像）への接続は、前面部と後面部のどちらか一方にしてください。両方の端子に同時に接続すると、正常な映像を出力することができません。

### 前面部に接続する場合



### 後面部に接続する場合



必要ときに

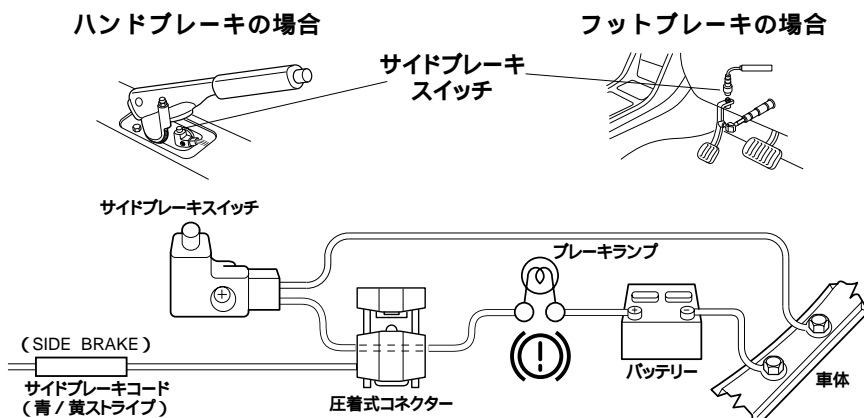


## サイドブレーキコードの配線のしかた

### お願い

サイドブレーキコードは、安全と事故防止のため、必ず配線してください。

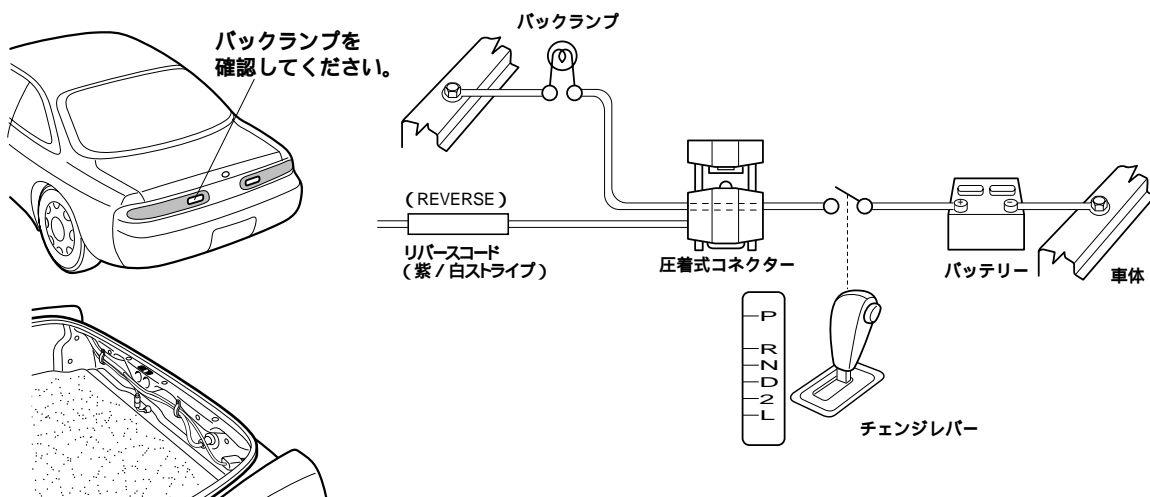
- サイドブレーキコード（青/黄）は、サイドブレーキスイッチから出ている2本のコードのうち、サイドブレーキが解除のときに常時車体にアースされていない方のコードに接続してください。
- サイドブレーキスイッチの位置は車種によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。



## リバースコードの配線のしかた

別売の後方確認カメラをご使用の場合は、リバースコードの接続が必要です。

- チェンジレバーを“R”（リバース）に入れたときに点灯するバックランプ（後退灯、透明のレンズが付いたランプ）のプラス線に、リバースコード（紫/白）を接続してください。



テールランプ取り付け部の裏側から取り出します。

### お願い

リバースコードは、先端の端子を切って配線してください。

必要なときに

# 取り付けのしかた

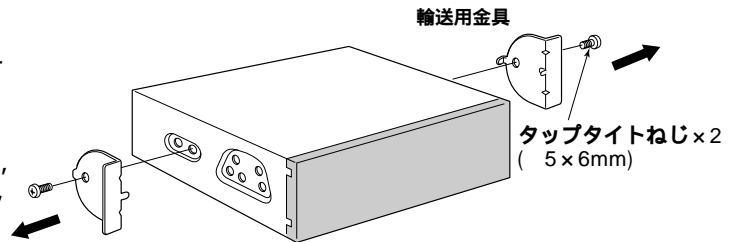
## 本体の取り付け

- 本機はDC12V $\ominus$ アース車専用です。
- 取り付けには、車両で使用されているブラケットをご使用ください。

### 輸送用金具について

取り付け前に必ず輸送用金具をはずしてください。

タップタイトねじ( 5x6mm )2本は、取り付けのときに使用します。紛失しないようご注意ください。



### 取り付け用付属品

添付の袋には、右表の取り付け用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
①	タップタイトねじ( 5x6mm )	2
②	タップタイトねじ 皿型 ( 5x6mm )	4
③	スペーサー	2
④	両面テープ	2

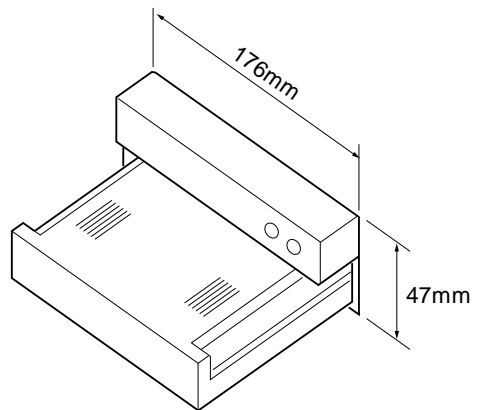
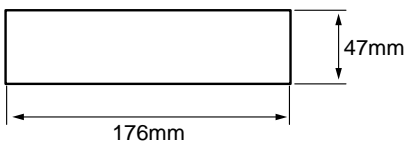
### お願い

- 本機の取り付けねじの長さは6mmです。必ず付属ねじ①または②をご使用ください。
- 後部取り付け穴(P.9 参照)にはタップ加工がありません。ご使用になる場合には、付属の取り付けねじ等で必ずタップ加工をしてから取り付けてください。

### 取り付け時の注意

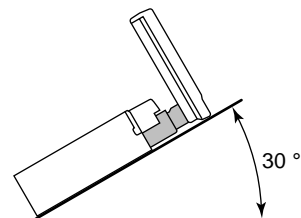
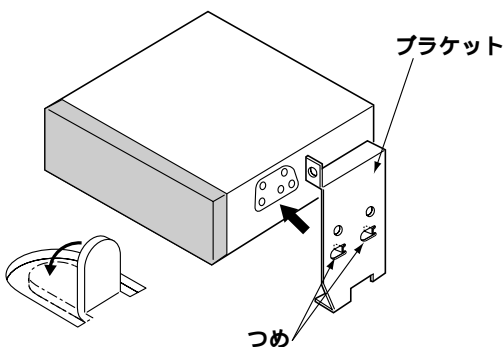
- 車種により、オーディオ取付位置や開口寸法にバラツキがあるため、取り付けできない場合やディスプレイ部が開口部にすれて動作しない場合があります。特に開口部が47mm×176mm以下の寸法の場合には、販売店にご相談ください。

#### 開口寸法



- ブラケットに“つめ”がある場合には、ラジオペンチ等で“つめ”を折り曲げて、平らにしてください。

- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



## ⚠ 注意

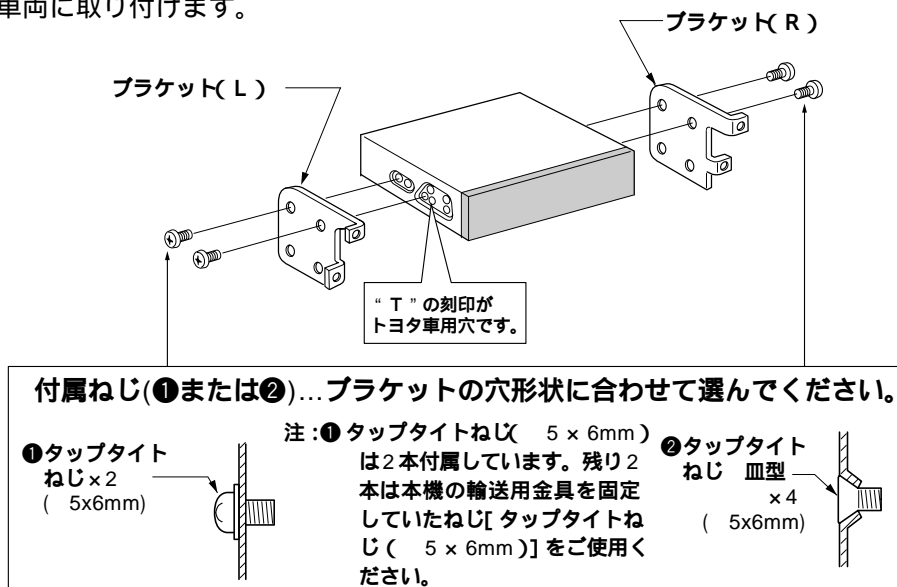
### 取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

### トヨタ車に取り付ける場合（DINサイズ採用車）

1. 車両からカーラジオ、小物入れを取りはずし、それらを止めているブラケットを取りはずします。
2. 付属ねじ①または②を使用して、本機にブラケットを取り付けます。
3. 本機を車両に取り付けます。



- 年式、車種、グレードにより、専用キット（別売）が必要な場合がありますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、車両側との配線が容易にできる専用の中継コード（別売）が準備されておりますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

### 日産車、本田車、三菱車に取り付ける場合（DINサイズ採用車）

- 上記メーカーのDINサイズ採用車には、メーカー別の標準取り付けキット（別売）が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、年式、車種、グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もありますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

### 上記以外の車に取り付ける場合

汎用（別売）または車種別に専用キット（別売）が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。

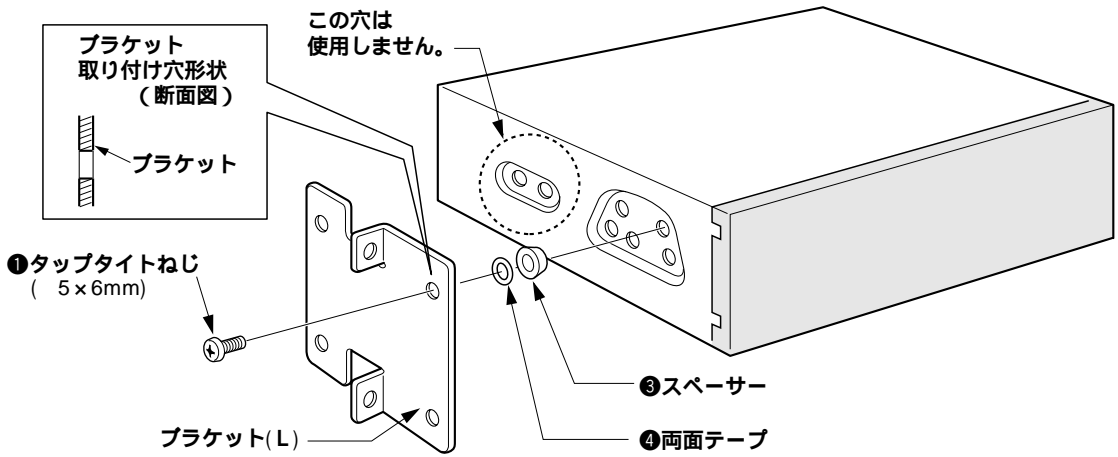
### お知らせ

DINサイズ採用車とは、オーディオスペースに通称セット幅180mm、高さ50mmサイズが搭載できる車です。

# 取り付けのしかた (つづき)

## スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が下図のような場合に使用します。下図をご参照のうえ、正しく取り付けてください。



# TVアンテナの貼り付け

## TVアンテナ用付属品

- 付属アンテナは、車載用テレビ専用です。（カーラジオには接続できません。）
- 添付の袋に右表のTVアンテナ用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
Ⓐ	アンテナ本体左右（ケーブル6m）	各1
Ⓑ	アンテナベース（アンテナ本体に装着して出荷）	2
Ⓒ	クリーナーセット ..... クリーナー液、ウエス(布)	一式
Ⓓ	ケーブルカバー	4
Ⓔ	ケーブルクランプ	6

## 貼り付けられる車種

トランクがある3BOXカー（4ドア、2ドア車）専用です。1BOXカーには貼り付けられません。

（アンテナが目にあたったり、バックドアの開閉でケーブルが断線することがあるため）

### お知らせ

フッ素樹脂処理（水滴や泥水等をはじきやすくさせる、はっすい処理）された塗装面、ガラス面、および再塗装された塗装面には、貼り付けられません。

## 貼り付ける前に

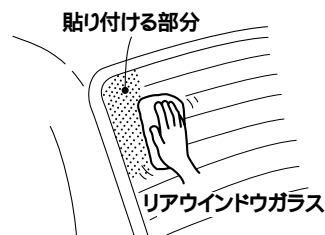
アンテナは、車幅や車の前後部からはみ出さない位置を選んで貼り付けてください。歩行者等に接触して事故の原因になることがあります。

- 雨天時は、野外で貼り付けない。  
接着力が弱くなり、走行中にはがれることがあります。車庫内などでドライヤー等を利用し、水分を取り除いてください。
- ガラスの表面温度が低いとき（外気温 20 以下）は暖める。  
接着力を上げるため、5分間ほどリアウインドウデフォグスイッチおよび車内ヒーターを入れ、暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付けたあと24時間以内は、雨中の走行や、水をかけたり、引っぱったりしない。  
接着力が弱くなり、走行中にはがれることがあります。通常の走行にはさしつかえありません。

## 貼り付けかた

### 1. 貼り付ける部分をきれいに拭き取る

- ①クリーナーセットで、ほこり・油・ワックス等を取り除きます。
- クリーナー液が白く乾いたら、布でから拭きしてください。

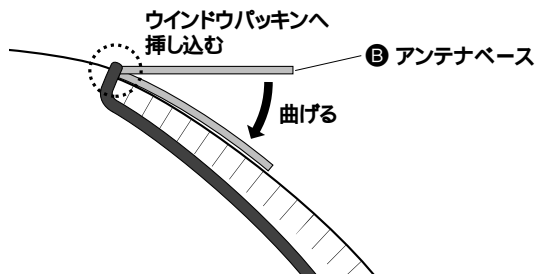


### お願い

付属のクリーナー以外のものはご使用にならないでください。接着力が弱くなり、走行中にはがれることがあります。

### 2. アンテナベースを整形する

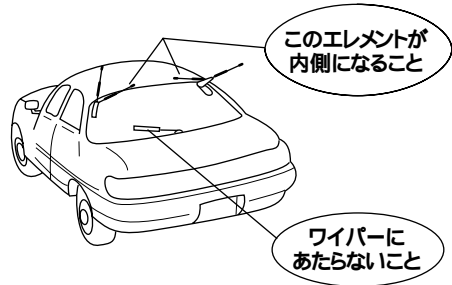
- アンテナベースのはくり紙（裏面）をはがさずに、アンテナベースをガラスの曲面に合わせてください。
- ガラスにあてたとき、すき間ができないようにしてください。



# 取り付けのしかた(つづき)

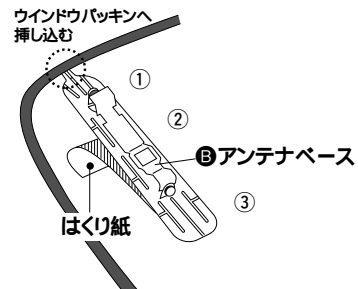
## 3. 貼り付ける位置を確認する

- アンテナベースの位置やエレメントが左右対称になるようにビニールテープ等で仮固定し、位置を合わせます。
- リアウインドウ上部の左右のコーナーで、アンテナベースが密着する場所に貼り付けてください。
- コーナーに貼り付けたときに上側のエレメントが車体の外側に出る場合、およびガラスの曲面がきつく、アンテナベースがガラス面にフィットしない場合は、コーナーからはなして貼り付けてください。



## 4. 貼り付ける 左右のアンテナを貼り間違えないよう、ご確認ください。

- アンテナベースのはくり紙(裏面)をはがし、①→②→③の順で貼り付けます。
- 貼り付け部分に空気が入っていないか、車内から確認してください。空気が入っているときは、確実に密着するように、さらに押しつけてください。

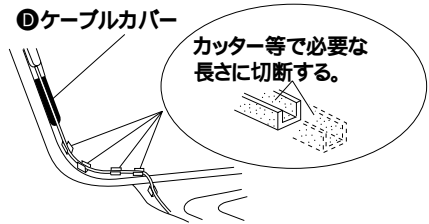


### お願い

接着力が弱くなるので、接着面には手を触れないでください。また、貼り直しをしないでください。

## 5. ケーブルを固定する

- ガラスの曲面に合わせて、ケーブルカバーを貼り付けます。

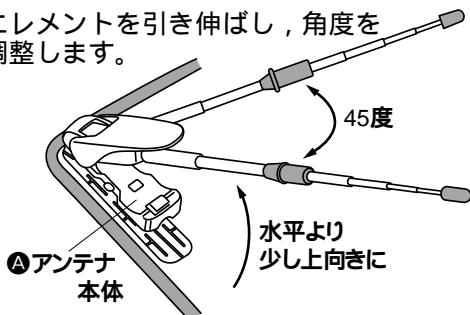


## アンテナの調整と着脱のしかた

自動洗車機での洗車や長時間駐車をされる場合には、取りはずしてトランクへ収納してください。

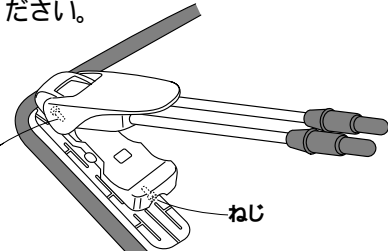
### 調整

- エレメントを引き伸ばし、角度を調整します。



- エレメントが車体の外側に出る場合は、ドライバーで図のねじをゆるめて調整してください。調整後は、ねじを締めなおしてください。

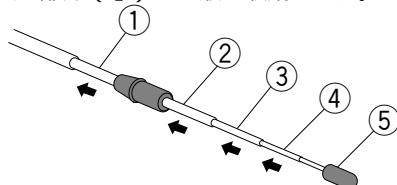
- ねじはときどき点検し、ゆるみのある場合は締めなおしてください。



### はずしかた

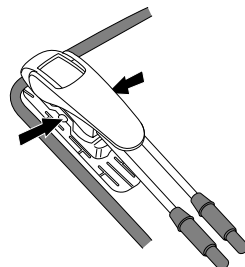
## 1. エレメントを縮める

- 太い部分(①)から順に収納します。



## 2. アンテナ本体をはずす

- 両側のボタンを押しながら上へ持ち上げます。

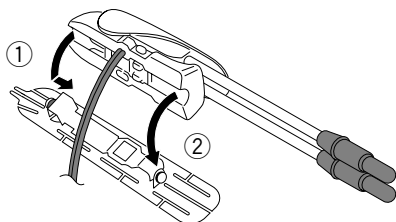


### 取り付けかた

①上の溝に金具を引っかける。

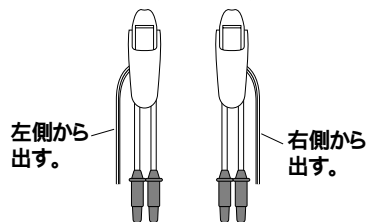
②下の溝にはめる。

“カチッ”と音がすることをご確認ください。



### アンテナケーブルの引き出しかた

左側用 右側用

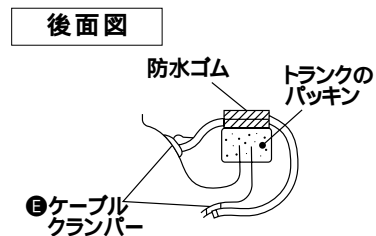
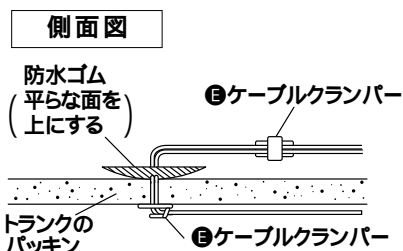
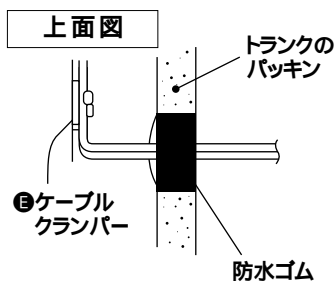
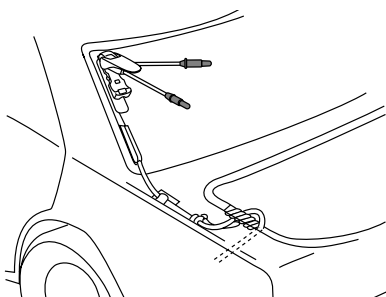


## アンテナのお手入れ

- アンテナ本体やケーブルを、アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでも拭かないでください。
- アンテナエレメントにゴミ等が付着してスムーズに伸縮しなくなったときは、ねり状ワックス等で磨いてください。

## アンテナケーブルの引き回しかた

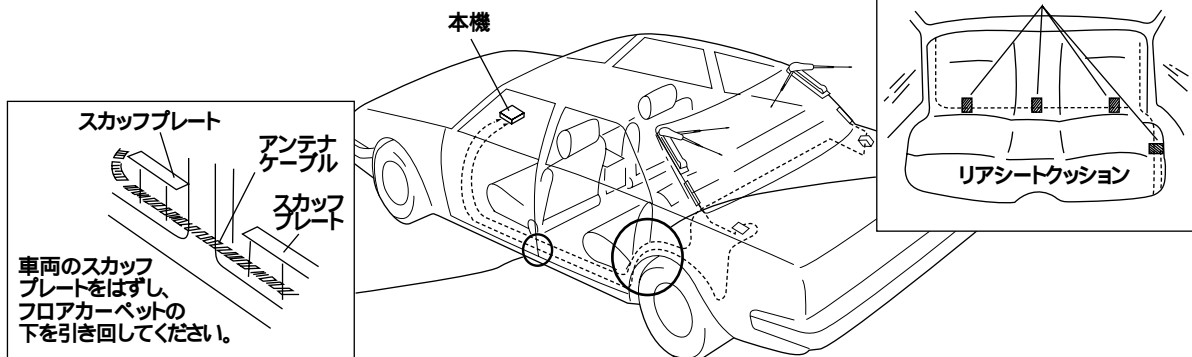
### アンテナ ~ トランクルーム



#### お願い

- トランク内に雨水等が入らないようアンテナケーブルを引き回し、車両のゴムパッキンより低い位置に貼り付けてください。
- 防水ゴムは、必ず車両のトランクのパッキンと平行になるように取り付けてください。

### トランクルーム ~ 本機



#### お願い

- アンテナケーブルは踏まれたり、はさまれたりしない所を通し、いすを前後に移動しても破損しないように引き回して、テープ等で固定してください。
- AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスやカーナビゲーションの本体からアンテナケーブルをはなしてください。

必要に応じて

# 仕様

## 共通

電源電圧	: DC 12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 1.5 A (TV動作定格出力時)
音声入力感度	: 0.5 Vrms (VTR)
プリアウト出力電圧	: 0.5 Vrms
スピーカー	: 3.6 cm 丸型1個
スピーカー出力	: 0.7 W
映像入力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp - p (75 )
映像出力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp - p (75 )
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 160 (mm)
質量	: 2.0 kg

## ディスプレイ

ディスプレイ	: 7 型ワイド
画面寸法	: 幅 156 × 高さ 87 × 対角 178 (mm)
画素数	: 336 960 画素 (縦 234 × 横 480 × 3)
有効画素率	: 99.99 %以上
表示方式	: 透過型カラーフィルター方式
駆動方式	: TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
使用光源	: コの字型冷陰極管 (エッジライト方式)

## テレビ部

受信チャンネル	: VHF 1 ~ 12 ch, UHF 13 ~ 62 ch (TVステレオ, 音声多重)
実用感度	: 42 dB/μV

## トランスミッター部

送信周波数範囲	: 76.0 MHz ~ 78.4 MHz
---------	-----------------------

NAVIIは、登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



# アフターサービスについて

## 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間 - お買い上げ日から 1 年間

## 修理を依頼されるとき

“故障と思われる前に”の項に従って調べていただき、直らない場合には必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

### ● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低 6 年間保有しております。

## アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき


お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため，記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CY-TV7000D
販 売 店 名		☎ ( )	-
お客様ご相談窓口		☎ ( )	-

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様相談室  0120 - 50 - 8729  
(土・日・祝祭日，弊社休日を除く 9:00 ~ 17:00)